

KSC 2011 SERIES



(対象年齢18歳以上)

取扱説明書

ご使用になる前に
必ず最後までお読みください。

OPERATOR'S MANUAL

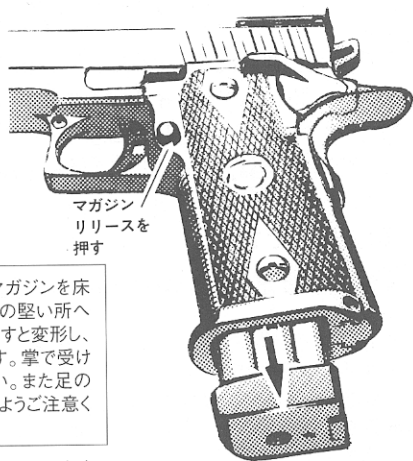
警告

失明などの重大なケガの危険があります/
誤った取り扱い、不注意な発射は、暴発・跳弾・銃の破損につながり、
ケガ・物品破損・事故を招く危険があります。以上の事を未然に防
ぐために、この取扱説明書を最後まで良く読み、注意事項・マナーを
十分認識したうえで、当製品を安全に正しくお使いください。

操作 I

1 【ガスの注入】

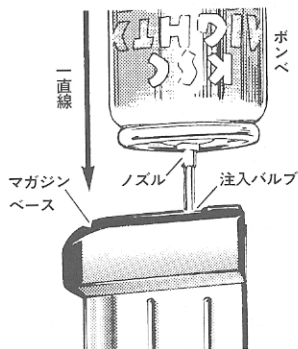
1. マガジンリリースを押し、マガジンを抜いてください。抜いたらマガジンが温まりすぎていないことを確認します（温まりすぎているとガス充てんが十分に行なえません。次ページを参照し状況改善を行ってください）。



⚠ 注意

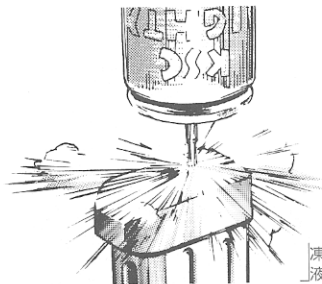
●マガジンを床などの堅い所へ落とすと変形し、銃の不調につながります。掌で受け止めるようにしてください。また足の上に落してケガをしないようご注意ください

2. マガジンを逆さに持ち、マガジン底部の注入バルブにKSCマイティポンベのノズルを差し込んで、ポンベを軽く押し下げてください。この時、ポンベとマガジンが垂直方向に一直線になるようにするのがコツです。うまく注入できているときはシューという音がします。



⚠ 注意

●ポンベを押し下げたとたん液状ガスが注入バルブ周辺から吹き出す場合は、ポンベとマガジンの注入バルブが一直線になっていない時ですので、微妙に角度を修正して正常に注入できる位置をさがしてください



3. 正常な注入後、満タンになったら液状ガスがふきだしますので注入を終了してください。しばらく放置しマガジンが常温（触ってみて熱さや冷たさを感じない程度）に戻ってから使用します。（マガジンが冷えていると正常に作動しません。）

KSCマイティポンベ500
¥1,300 (500g入り)
【フロンHFC134a】

凍傷の恐れあり。
液状ガスに注意!

⚠ 警告

《ガスポンベ使用上の注意》

●KSCマイティポンベ以外は使用しないでください。特に高圧ガス等は故障の原因となるばかりでなく、破損・破裂といった危険につながることも予想されますので、絶対に使わないでください。また、指定以外のものはポンベの口金が合わず注入できないこともあります ●ガス圧を故意に上げるために暖房器具・熱湯等で加温することは絶対にしないでください。破裂の恐れがあり危険です ●注入時に液状ガスが身体や衣類につかないよう注意してください。気化冷却のため凍傷になる危険があります ●その他、マイティポンベに記されている注意内容も守ってお使いください ●上記の注意を守らずに使用して発生した故障や事故については当社は一切の責任を負えません



破裂注意 40°C以上厳禁 火に近づけない 熱湯で温めない 日光に当てない 車中放置禁止

⚠ 警告

《リキッドチャージシステムのマガジンは、ガス注入した直後、マガジン内が非常に冷却されます。そのため、ガス室の内圧が下がり、エアノズルの穴より微量のガスが漏れることがありますが、常温になると正常に戻ります。このガス漏れは、非常に微量ですので、使用上全く問題はありません ●発射時にガスを放出する際、マガジンの油分が飛ばされてしまうので、常にオイルを補充し、ベストの状態でご使用ください。（メインティ

●リキッドチャージシステムのマガジンは、ガス注入した直後、マガジン内が非常に冷却されます。そのため、ガス室の内圧が下がり、エアノズルの穴より微量のガスが漏れることがありますが、常温になると正常に戻ります。このガス漏れは、非常に微量ですので、使用上全く問題はありません ●発射時にガスを放出する際、マガジンの油分が飛ばされてしまうので、常にオイルを補充し、ベストの状態でご使用ください。（メインティ

ナンスの項参照) ●周辺温度が20℃以下の場合(冬期など)や連続発射をした時は、ガス圧が下がり、作動が鈍くなる場合があります。これは故障ではありませんから、室温などで常温に戻せば調子は回復します。決してマガジンやポンペを故意に温めないでください ●ガスが入っているマガジンを、直射日光の当る所や火気の近くなど、温度の高くなる場所に置かないでください。故障の原因となる場合もありますので、使用しないときは、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください ●注入するガスは、KSC純正の“マイティポンペ”と表示されたものをご使用ください。他の種類のガスをご使用になると、故障の原因となるばかりでなく危険です。絶対に使用しないでください ●リキッドチャージシステムは、マガジンやポンペが低温になっていてもガスチャージできます。絶対に缶を温めないでください ●マガジンをむやみに分解すると故障の原因となります。また危険ですので絶対にしないでください ●マガジンはかなりの重さを持っていますので、落下させた場合、ケガや破損の原因となります。掌で受け止めてお使いください ●使用しない時は、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください。常に圧力がかかった状態ですと、ゴム類等、内部部品への負担が増し劣化を早めることとなります ●ガスを放出させる際は、気化冷却のために非常に低温となりますので、ガスが手や顔にかからないようご注意ください

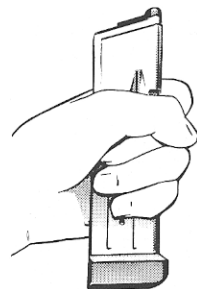
注意

《マガジン性能安定のポイント》

KSCのガスブローバックガンは、生ガス(液状ガス)を吹きながらでも正常な作動・弾道が得られるよう設計されていますが、極端に冷えすぎた場合、ブローバック作動時に送弾せずBB弾が飛ばないことがあります。このような時やガス注入時にマガジンの冷えが確認された場合は注入後に掌でしばらく握っているか、室温など20~30℃のところではしばらく放置して常温(=マガジンを触ってみて冷たくも熱くもない)状態にしてください(放置しておく際は子供の手の届かないところで行ないましょう)。また、逆に直射日光等が原因で温まりすぎた場合ですが、状況によって改善策が多少異なります。①ガスが満タン(またはそれに近い状態)で温まりすぎた場合——異常な内圧の上昇により放出バルブの“はりつき現象”が起き、ハンマーの打撃力だけでは放出(=発射)できないことがあります。このような時は放出バルブを押し、ガスを少量放出して内圧を下げてください。この時、放出量が多いと全弾撃ちつくすだけのガスが残らないことでもありますので注意しましょう。放出バルブが押せないほど圧力が高くなった時は、図のようにポンペを下にして注入時と同じ要領でマガジンを押しつくと、相方の内圧が同じになるまでガスが逆流し圧力の低下が得られます。こうすると放出バルブを押せるようになりますが、この場合、全弾分のガス量が残っていないことがあり、さらにマガジンが温まったままですとガス補充も十分に

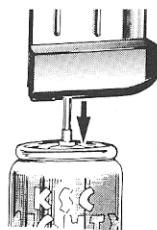
は行なえません。いったんマガジンからガスを放出し(気化冷却を利用してマガジン温度を下げ)改めてガス注入を行なってから使用してください。②当マガジンは通常60発以上分のガス量が蓄えられます。性能の安定を計り、残りのガスを有効に使う意味から2マガジン分位を撃つたびにガスチャージしてください。この時、マガジンが温まりすぎていることが大切です。残りのガスが入っている状態でマガジンが温まりすぎている場合、マガジン内圧がポンペ内圧より勝り、ガス補充のつもりで作業を行ってもマガジンからポンペへの逆流を招くだけで実際にはガス補充ができていなかったということもあります。そんな時は放出バルブを押し残りガスをすべて放出したうえでガス注入を行なってください。③ガスが空の状態のマガジンが温まりすぎた場合——空とはいっても1気圧分の空気は入っています。これが熱により膨張し内圧が高まっているわけですので、ガス充てんが不十分にしか行なえないことがあります。空のマガジンでも放出バルブを押し内気圧(=大気圧)とマガジン内圧を同じくしてからガス注入を行なってください。④異常なほどマガジンが熱くなってしまった場合、ガス放出・ガス注入をくりかえし、気化冷却によってマガジン温度を常温(冷たくもなく熱くもない状態)にしてから使ってください。なお、この銃の場合、前述の放出バルブの開放は、バルブプレートを押すことで行なえます。最後に以上の内容をまとめる以下3の項目に集約することができます。

- 銃の性能を100%引き出すにはマガジンのノウハウを身につける
- 使用時はマガジン温度をつねに常温状態(20℃以上)でキープする
- 「1チャージ2マガジン」が性能安定のポイント



しばらく握って体温で温める

ハンマー(撃鉄)の打撃力でガス放出ができないくらい内圧が上がっている時は、バルブプレートをゆっくり押してガスを少量放出させ内圧を下げる



バルブプレートが指先で押せない時は、ポンペ内へガスを逆流させて内圧をへらす

※寒冷期は気化が遅く圧力も低いので、夏場より液状ガスが多く注入され気化スペースを狭くし、最初の数発は生ガスがでてしまう傾向が強まります。満タン注入後はガスを少量放出し、気化スペースを作ってください。

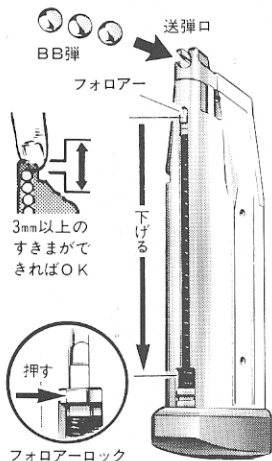
操作 II

2 【BB弾の装てん】

警告

《BB弾使用上の注意》

●KSC製エアガン（ガスガン含む）は、全機種KSC製BB弾に合わせた設計・調整が行なわれています。言い換えれば同BB弾使用時に最も高性能が発揮できるということにもなります。以上の理由から、BB弾は必ずKSC製をお使いください。指定外のBB弾、キズがあったり変形したBB弾、改造を施したBB弾は、性能を著しく低下させるばかりか、正常な発射ができなかったり様ざまな作動不良の要因ともなりえます。ご注意ください。（当社への修理依頼品のうち過半数は他社BB弾使用に起因するものです。また、そのうちの半数近くはKSC製BB弾に変えただけで正常作動してしまうというのが実状です。） ●KSC製以外のBB弾を使用し発生した故障や事故については、当社では一切の責任を負いません ●BB弾は使用後必ず回収してください。幼児が飲み込んで窒息したり、誤って踏んで転倒し大ケガをするなど、思わぬ事故につながる危険性があります。また、屋外で回収を怠ると、環境破壊にもつながります



1. フォロアーを押し下げます。一番下まで行くと自動的に止まります。
2. 26発以内のBB弾を送弾口から装てんしてください。無理に指定弾数を超えて詰めるとラバーチェンバーへの送弾時に破損します。マガジンへの装弾が終わったら、リップと一番上のBB弾とのすきまが3mm以上あることを必ず確認し、無い場合は1発抜いてください。
3. フォロアーロックを押すとフォロアーは上昇しBB弾をホールドします。この時、BB弾が飛び出さないよう送弾口を指でふさいでおきましょう。BB弾が少ない時や入っていない時にフォロアーロックを解除すると、おもいきりフォロアーが上昇しリップやBB弾にぶつかり破損を招きます。このような時は指先をそえて、ゆっくり上昇するように配慮してください。

注意

●指定数をこえるBB弾を無理につめこむと、破損の原因となりますのでご注意ください ●気温の変動等によりマガジン内の圧力が上がりすぎると、ハンマーの力ではガスを放出できなかったり、弾道が乱れる場合があります。そのような時は、BB弾を抜き、ガスを多少放出させ（7ページ参照）ガス圧を下げてください

3 【マガジンの装着】



マガジンを銃本体に戻します。この時、マガジンリリースがカチンと音をたててかかるのを確認し、念のため一度マガジンを下に引いて抜け落ちないことを確かめてください。

注意

●銃本体とマガジンベースの間に手を挟まないようご注意ください ●万一、指定数をこえるBB弾がマガジンに装てんされている場合は、マガジンが正しく装着できません。無理をして装着しようとすると銃が破損します。このような時はけっして無理をせず、BB弾を減らしたうえで装着してください

破損の原因になります。マガジンをおもいきりたたきこまないでください。

★マガジン温度を常温に保つこと、1チャージ2マガジンか性能を100%安定して発揮させるヒケツです

4 【初弾の送りこみ】

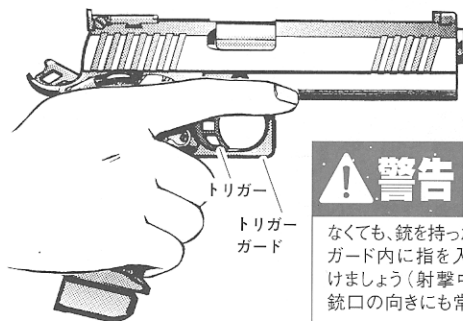


スライドをいっぱい引いて指をパツとはなすと、初弾がチェンバー（薬室）に送りこまれ、ハンマー（撃鉄）が起きた状態になります。

★この操作を忘れると発射できません。

⚠ 注意

●指をそえたりしてスライド前進を遅らせると送弾不良の原因になります。指をパツと離してください ●誤射・暴発を防ぐ意味で、射撃の直前まで薬室にBB弾を送りこまないでください。



トリガーフィンガー（引金を引く指）をトリガーガードの外へ出しておく

⚠ 警告

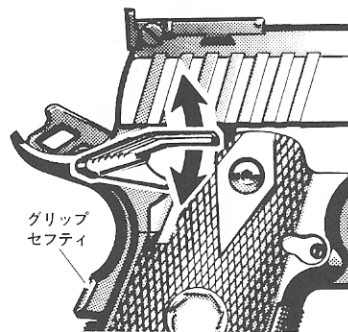
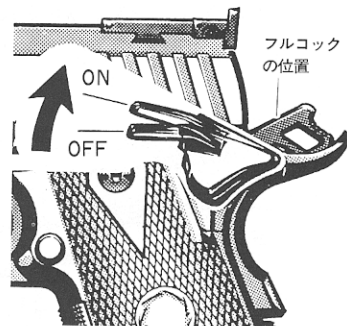
●BB弾・ガス・マガジンが銃に入っているとしても、銃を持った時は常にトリガーガード内に指を入れない習慣をつけましょう（射撃中は除く）。さらに銃口の向きにも常時注意しましょう

5 【セフティ（安全装置）】

マニュアルセフティ

セフティはハンマーがフルコックの時だけかかります。上にあげるとON、元に戻すとOFF（発射状態）です。

●セフティがアンビタイプの場合、左右どちらからでも操作できます。



グリップセフティ

グリップセフティも安全装置の一種です。しっかり握りこまないトリガーが引けません。

⚠ 警告

●セフティを操作する時は、不調や故障の場合を考え、万一暴発しても事故や器物破損がおきないように、銃口の向きに注意し、さらに跳弾しない配慮をしてください ●セフティ操作中はトリガーに指をかけないでください。発射をする時以外は、つねに安全装置をかけておく習慣をつけるようにしましょう ●ハンマーを指で押さえてフルコックから直接ハンマーダウンする方法は、万一操作を誤ると暴発・誤動作を招き危険です。絶対しないでください

使用前

マナー

操作

ホップ

保管他

手入れ

分解

パーツ

アクセ

故障？

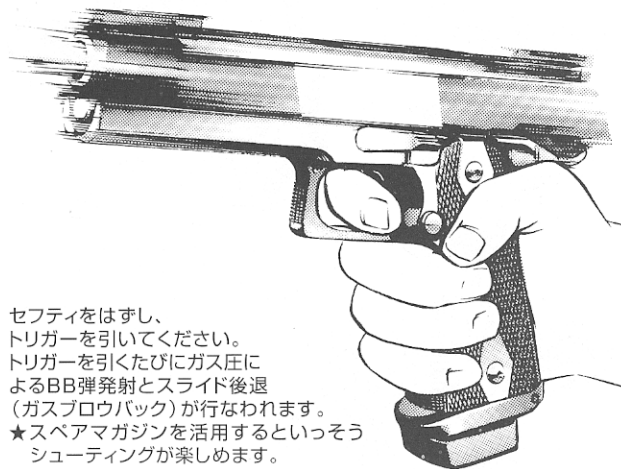
アフター

通販

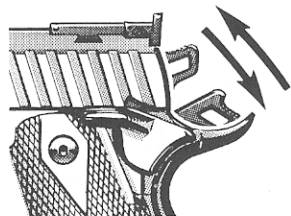
実銃

6 【発射】

★快調作動はマガジンの温度コントロールと1チャージ2マガジンがポイントです。



セフティをはずし、トリガーを引いてください。トリガーを引くたびにガス圧によるBB弾発射とスライド後退(ガスプロウバック)が行なわれます。★スベアマガジンを活用するといっそうシューティングが楽しめます。



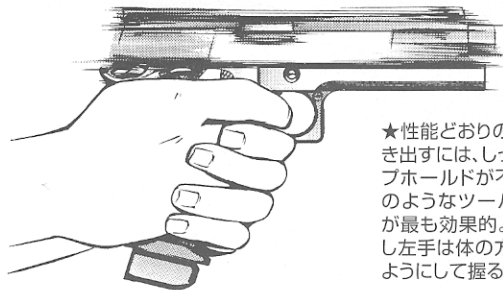
発射の方法は次のとおりです。

シングルアクション

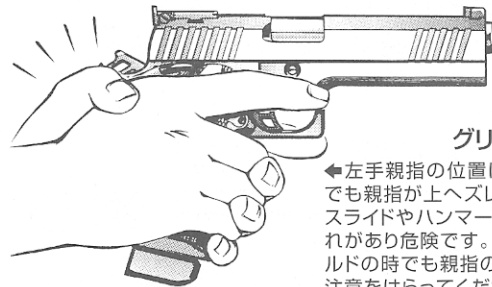
ハンマーが起きている状態からトリガーを引いてハンマーをダウンさせ、発射させる方式

注意

●銃後方にプロウバック時の排気を感じる場合があります。また、パワーソースとして使用しているガスの特性上、寒冷期やマガジンが冷えている場合は、作動不良が起こることもあります(6ページ“リキッドチャージマガジン使用上の注意”7ページ“マガジン性能安定のポイント”参照)。これらはいずれも故障ではありませんので、ご了承ください ●ガス残量が少なくなると、作動が悪くなり性能が安定しません。早めにガスを補充してください



★性能どおりの命中精度を引き出すには、しっかりしたグリップホールドが不可欠です。図のようなツーハンドホールドが最も効果的。右手は突き出し左手は体の方へ引きつけるようにして握るのがコツです。



●良くないグリップホールド

◀左手親指の位置に注意! 少しでも親指が上へズれると、後退するスライドやハンマーでケガをする恐れがあり危険です。どのようなホールドの時でも親指のポジションには注意をはらってください。

警告

●銃を横にしたり逆さにして撃たないでください。液状ガス(=生ガス)がそのまま出てしまいます。この状態のガスは気化冷却のため非常に冷たく、体に触れると凍傷になる可能性があります。さらに、銃内部の特にゴム部分を凍らせてしまう場合もあり、劣化をいちじるしく進行させます。ご注意ください

使用前

マナー

操作

ホップ

保管他

手入れ

分解

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

実銃

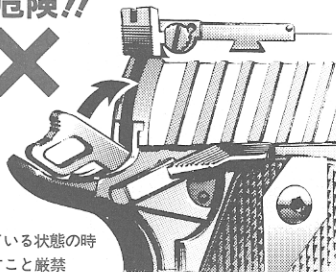
警告

《発射時の注意》

不注意な発射は失明やケガ等の危険があります。発射の際は跳弾にも十分注意し周囲の安全を必ず確認してください

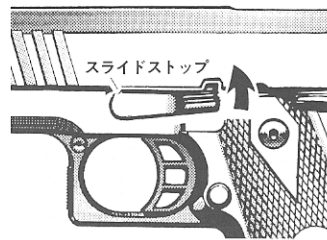
●スライドが勢よく後退します。顔を近づけないでください。また、跳弾や万一の破損による部品の飛散を想定して、シューティンググラスなどのアイプロテクション(目を保護するもの)を必ず着用し、肌を露出しない服装になるなどしてケガを未然に防ぐ方法をとってください ●倒れてくるハンマーで指などを挟まれないよう注意してください ●撃つ・撃たない、BB弾が薬室に入っている・入っていないにかかわらず、どんな時にも人・動物・かわいやすい物に銃口を向けない、または銃口側にいない(ない)ようにしてください ●同上の理由から、万一の暴発を考え、銃口をのぞきこまないでください ●BB弾の到達距離はその時の気温、風向に多分に左右されますので、より遠く、より広範囲にわたって十分な注意をはらってください ●イタズラに他人の物、公共の物を撃ったりすることは絶対しないでください。それは犯罪です ●発射する意志があり、かつ銃口が標的に向いている時以外は、絶対に引金に指を触れないでください ●射撃を楽しんでいる以外の人がある時や屋外の場合は、近所迷惑・誤解のないよう十分注意してください ●壊れやすい物を標的にしたり、標的の周辺に置かないでください ●跳弾は思わぬ方向に飛ぶ可能性があります。可能な限り広範囲に注意をはらってください ●複数の人で射撃を楽しむ場合は、全員にアイプロテクションの着用を義務づけ、射撃前には他の人に発射することを伝え注意をうながしてください ●必要以上の空撃ち(ガスやBB弾を使わない射撃操作)は部品の摩耗・破損につながりますので、しないでください ●マガジンが銃に装着されている時、起き上がっているハンマーを指でおさえながらトリガーを引いてゆっくりとハンマーを倒す操作は絶対にしないでください。暴発した後退するスライドでケガをする危険があります

危険!!



銃にマガジンが入っている状態の時
指でハンマーをもどすこと厳禁

7 【ホールドオープン】



全弾撃ちつくすとスライドストップがかかり、スライドは後退位置で止まります。スライドストップを下げるとスライドが前進し通常位置に戻ります。替えマガジンがある時は、オープン状態のまま空マガジンを抜き、替えマガジンを装着し、スライドを引くと初弾が送りこまれ再度発射準備完了です。

注意

●スライド閉鎖時に指を挟まないよう注意してください。この時、トリガーに指がかかっていること、銃口の向きにも注意をはらってください ●寒冷期やガス切れ・連続発射等によるガス圧不足、メンテナンス不足、グリップホルドの甘さなどが原因となって、スライドストップがからまない時がありますが、これは故障ではありません。該当する原因を改善すれば正常にもどります

8 【発射が終わったら】

マガジンを抜き、スライドを引いてチェンバー内に残弾がないことを確認してください。残弾がある場合、スライドストップをかけた状態で、銃口側からロッド状のものを利用して押し出してください。



警告

●撃ち終わった時、撃つ意志がない時には、ただちに薬室からBB弾を抜き、決して入れたままにならないようにしてください(誤射・暴発へつながる可能性があります)

ホップアップメカニズム



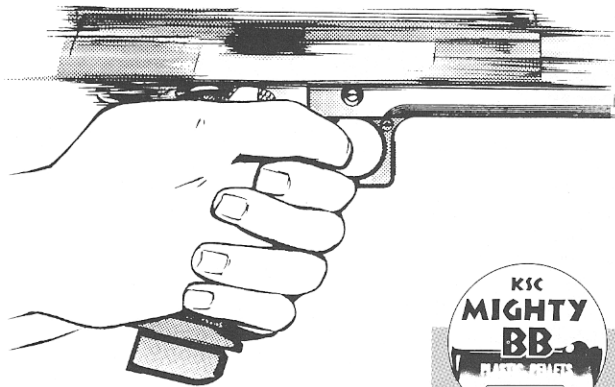
【ホップアップの現状】

当製品には可変ホップアップメカニズムが標準装備になっています。このメカニズムは、発射時のBB弾に意図的に一定方向(上向き)の回転を与えることで揚力を生ませ、それにより、より遠くへ水平軌道のまま(あるいは多少の放物線を描かせて)到達させることを目的に開発されています。

一般的に言われているホップアップ機能の特徴は以下のとおりです。

●無暴なパワーアップという手段を使わずにBB弾を遠くまで飛ばすことができる ●弾速はノーマルに比べ遅くなる場合もある ●タイトな機構であるため、BB弾のバラツキ、気温、湿度の変化が、ホップアップ効果の変動要因となる。

以上のように「遠くへ飛ばす」という大きなメリットと「BB弾・ガス圧といった不安定要素が、(ノーマルガン以上に)性能に影響を及ぼす」というデメリットを併せ持つのがホップアップガンなのです。ホップアップガンの性能を高水準で安定させるにはデメリットを最小限にすれば良いわけで、それにはいくつかの条件を満たす必要があります。



このマークが目印!



注意

《ホップアップ性能安定の条件》

①BB弾を選ぶ。

同一種のBB弾で、真球度が高く、径にバラツキのないものを選び、同時に汚れ・キズ・変形等がないことをチェックのうえ使用する。なお、0.2~0.25g弾の使用がもっとも効果的(軽量弾はバラツキ等の影響が顕著に表れ弾道が安定せず、重量弾だと飛距離が伸びない)。

②パワー(ガス圧)を極力一定に保つ。

ボンベやマガジンの使用時の温度が一定(保管時も同様)であることが望ましい。使用の際は替えマガジンなどを用意し、使用済みマガジンは休ませてガス圧の回復を図るといった方法もデメリットを最小限にするにはベター。

③ラバーチェンバー、銃身内部の状態を同一条件下に維持する。

オイルのつきすぎ、不良BB弾の使用やホップのかけすぎによる弾づまり等による起因するキズ、摩耗した部品の使用などもマイナス要因となる。メンテナンス時の注油は微量多頻度で行ない(17ページ参照)条件を安定させる意味から常に注油量を一定にする、ラバーチェンバー・インナーバレル内のオイルや汚れを定期的にクリーニングする、BB弾・ラバーチェンバーやインナーバレルにキズ・摩耗がある場合は早めに取り換える、といった配慮が必要。

④大気の状態が安定している

いうまでもなく無風が望ましい。気温差も上記②に関連してホップのかけすぎあいに影響をおよぼすので配慮が必要。

※以上の4条件を満たせばその銃が持つホップアップ性能を100%引き出せる訳ですが、シューティングを楽しみながら、それらの微細な条件を常に高レベルでクリアーすることは現実的には困難です。そこで考え方としては、80~90%の性能レベルを維持しつつホップアップを楽しむ、具体的にいえば10発中1発前後の弾道の乱れなら(もともと条件をクリアーしていないのですから)許容範囲と考え割り切って楽しむ、というのが一般的のようです。では、ホップアップの現状説明はこれくらいにして、本製品のホップアップに関して説明してゆきましょう。

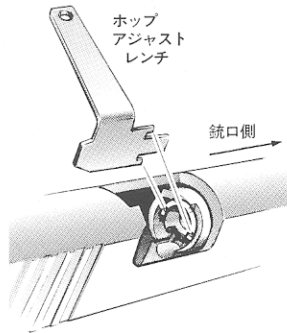
※KSCのホップアップ搭載銃はすべてKSCマイティBB弾に合わせて設計し、同BB弾によって最も性能が発揮できるよう調整されています。銃性能を生かす意味からもKSCマイティBB弾をお使いください。なお、当製品の場合、冬場は0.2g弾、それ以外の季節は0.25g弾の使用が命中精度の点では有効です。(0.2g弾=2,400発入り¥700、0.25g弾=1,500発入り¥750)



【調整と試射】

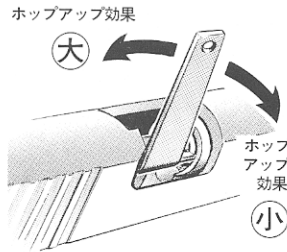
★ホップアップ調整には20m以上の空間が必要です。

- 1** まず、銃を撃ててみます（操作の項参照）。ホップのかかりくあい
が希望どおりの弾道を描いているかどうかをチェックします。
この時、10～12発撃ち平均的な弾道やグルーピングにより判断
してください（2～3発ではデータとして不十分です。判断を誤
る可能性があります）。



- 2** スライドストップをかけ、エжекションポートから、アジャストリングのミン
に付属のホップアジャ
ストレンチをさしこみます。

- 3** 試射の結果、ホップのか
かり方が弱い時は左へ、
ホップが効きすぎている
時は右へ、アジャストリン
グを回します。



警告 ホップアジャ
ストレンチの
エッジは鋭
利ですので、ケガをしないよう注
意してください。同様の理由から、
キーホルダーなどにつけて身に
つけないでください。

★調整のポイント

| ホップ効果 | BB弾の弾道現象 | 改善方法 (アジャストリングの調整) |
|-------|--|-----------------------|
| 無効 | 自重による自然放物落下 | さらに左へ |
| 小 | 水平飛行距離が自然放物 落下よりはのびる | 少し左へ |
| 適 | 水平飛行距離が最長に | そのまま |
| 大 | 水平飛行から上昇に移り、 最後に放物弧で落下 (この現象の直前状態が最 適のチューニング) | 少し右へ |
| かけすぎ | 極端なホップ、極端なドロ ップ、停弾、発射サイクルの バラツキ等が起きる | さらに右へ |

- 4** 調整→試射→調整と、以後、希望の弾道が得られるまでくりかえ
します。

注意

●「調整のポイント」の表の「かけすぎ」の現象が起
きた場合は、すみやかに射撃を中止し改善方法を実行し
てください（ラバーチャンバーをはじめ銃の摩耗・破損を
はやめることとなります） ●弾つまりの時はアジャストリングをホップ効果
がきかない所まで戻し、その上でBB弾を取り去ってください（かけすぎの状
態＝つまりラバーチャンバー内が狭いため停弾したわけですから、この状態
で強引にBB弾を抜き取るとうると確実にラバーチャンバーを痛めてしま
います） ●誤った調整方法・分解・改造による故障・事故等については当
社では一切の責任を負いません。また、その結果として生じた修理・調整費
用はすべて有料となります

使用前

マナー

操作

ホップ

保管他

手入れ

分解

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

実銃

メインテナンス (手入れ)

警告

●手入れを怠ると、たとえ買ったばかりの品でも作動不調をおこします。最終的には銃の耐久性にも影響しますので、こまめに行なってください ●メインテナンス中に工具類でケガをしないようご注意ください

注意

《使用オイルについての注意》

オイルはプラスチック用で「第4石油類」と明記されたテフロン系/シリコン系のものをお使いください。以上の表示がないものは絶対使わないでください。モデルガン/エアガンで使用されているゴム類や各種プラスチックのなかのある種の材質を侵してしまうものがあることが、当社の実験結果で確認されています。なかでも第2石油類のタイプ、金属用オイル(ミネ油、モーターオイル、CRC556などのスプレー潤滑油、錆/汚れ落としなど)は、100%というくらい良いほどヒビ割れなどの劣化の原因となります(○石油類の表示のないものも、内容成分が不明であることからお使いにならないほうが無難でしょう)。少なくともKSCガンオイルは、大半の他社製品を含め現時点でモデルガン/エアガンに使用されているほとんどのプラスチック材料をテストし異常のないことを確認済みです。安心してお使いください

警告

《KSCガンオイル使用上の注意》



火気の近くで使用しない。40℃以上のところに置かない、など、KSCガンオイルの缶に表示されている注意内容をよく読み、正しくお使いください。室内の換気、近くにオイルがつくとまずい物がないことなどにも注意してください

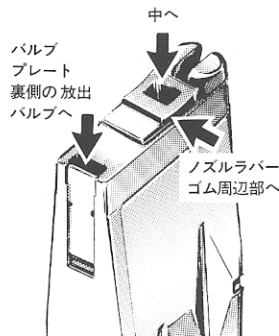
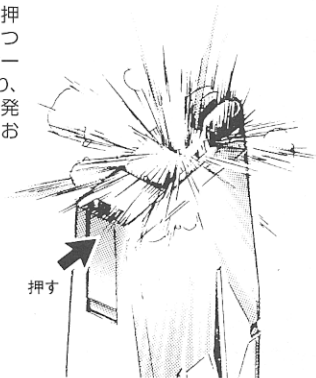
注意

《使用前点検》

何度も使っているうちにピン類が出てきたりスクリュー類がゆるんできたりすることがあります。弾が飛ばなくなる・閉鎖不良が起きるといった不調症状が表れ、故障・部品紛失の要因となりますので定期的にチェックしましょう。特にブリーチスクリュー(パーツリスト参照)は、ガスブロウバック時の振動により、ゆるみやすい傾向にあります。使用前に必ずチェックし、ゆるんでいる場合は「増し締め」してください。(『ネジロック』などのゆるみ止め剤を少量ずつ固定する方法もあります。使用の際はその商品の使用方法・注意書をよく読んでからお使いください。)

【マガジン】

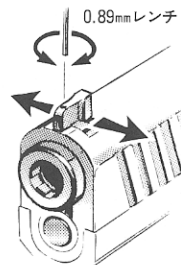
マガジン後部のバルブプレートを押すと、ガスを抜くことができます。つねにガス圧がかかった状態ですとシールドをしているゴム類に負担がかかり、劣化を早めることとなりますので、発射後は、残ったガスを必ず抜いておきましょう。



バルブプレートを押した状態で放出口(=ノズラバー)からマガジン内部へKSCガンオイルを注入してください。また、ノズラバー上面部や、放出口バルブへも注油してください。※いずれも少量でOKです。5マガジンくらいを目安に行なってください。

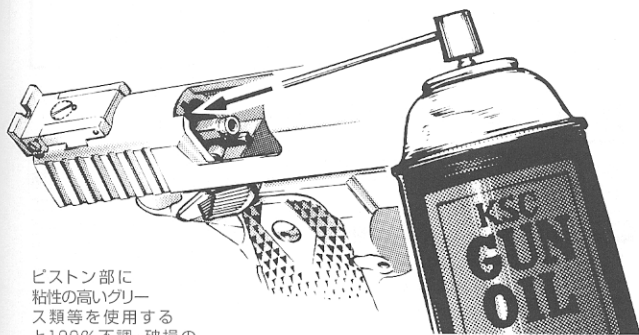
警告

ガス放出時は、液状ガスが手や顔などに吹きかからないよう放出口の向きに注意してください。もちろん他の人や動植物、電気製品、凍ると破損するものに対しても同様です。瞬時の冷却・凍結による凍傷・故障の原因となり危険です。



【銃本体】

●ピストンユニット部



ピストン部に粘性の高いグリース類等を使用すると100%不調・破損の原因になります。

スライドをホールドオープンさせ、スライドレール部、ピストンユニット部やノズル周辺に、ごく少量KSCガンオイルを吹きつけてください。

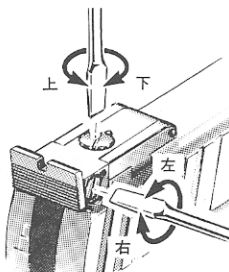
KSCガンオイル250
（シリコン配合潤滑スプレー）
¥1,200（250g入り）

●プラから金属までオールマイティに使えます

フロント&リアサイトの調整

●ポストタイプ フロントサイト
フロントサイトは上面のネジで固定されています。ゆるめて調整後締めてください。

●アジャスタブル リアサイト
リアサイトは、上面のエレベーションスクリューで上下が、右側面のウィンドージスクリューで左右がそれぞれ微調整できます。クリック式ですの単に希望するところで止めればOKです（ただしまわしすぎると締りすぎたり連結が外れたりしますので要注意です）。



⚠ 注意

●ラバーチェンバー内にはKSCガンオイル等を使用しないでください。オイルが付着しているとBB弾がスリップして正常な弾速・弾道で発射できないことがあります。

また、ラバーチェンバーの材質の関係から、オイル成分によってはゴムが膨張してくる場合もあります。以上の理由からマガジン内部、ピストンユニット部の注油は1回の注油量を必要最低限とし、定期的にごまめに行なってください（多量少頻度ではなく微量多頻度が、注油（＝メンテナンス）とラバーチェンバー内部条件を最大公約数的にベターに保つポイントとなります）。なお、弾道等に影響がでるほどにオイル分が付きすぎた場合や、その日の使用をやめたあとは、ティッシュや綿棒等でチェンバー内を必ずクリーニングしておいてください ●銃身内が汚れていると命中精度に悪影響をおよぼします。綿棒やティッシュなどで定期的にクリーニングしてください

●その他の可動部品

★スライドとフレームのレール部、ハンマーハウジングユニット部など可動部品の連係する部分、スプリング類などにも時どき注油してください。

★長時間使用しない時は、特にサビの出る可能性のあるスプリング類などスティールパーツを中心に、急入りにメンテナンスしてください。

●銃のクリーニング

⚠ 注意

メンテナンスはガンオイルを吹きつけるだけでOKというわけではありません。ゴミ、汚れ、水分の付着は、飛距離や命中精度の低下、作動不調の原因となりうるばかりでなく、サビの発生、部品劣化の加速にもつながります。つねにクリーンな状態を保ち、愛用の銃をいつも最高のコンディションにしておきましょう

⚠ 警告

●エアガンは3ページ目でも触れたとおり、悪意の改造を防止するために必要最低限の強度しかありません。使用部品の材質は主にプラスチックや強度の低い金属（亜鉛合金など）です。耐久性には限りがありますので消耗品とお考えください。特にガスプロウバック作動に関連する部品は磨耗や劣化がはげしく、使用回数が増えるほど寿命は短くなります ●踏んだり、幼児がのみこんでしまうといった万一の事故を考え、BB弾、部品、メンテナンス用品は放置しないでください ●パワーアップなどの危険改造は絶対しないでください。社会に迷惑を及ぼすばかりか、銃の破損確率も高まり本人がケガをする可能性も増大し危険です。なお、誤った使い方や改造が要因となって発生した故障・事故・事件につきましては、当社はいっさいの責任を負いません

使用前

マナー

操作

ホップ

保管他

手入れ

分解

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

実銃

分解 (組み立て)

エアガンは通常の場合、分解の必要はありません。弾づまりやメンテナンスの時以外は分解しないでください。



警告

●作業中に工具類や部品 (特にスプリング、ボール類は飛び出してくる可能性があります) でケガをしないよう注意してください。

●部品・工具・メンテナンス用具は、たとえ1個でも子供の届くところには放置しないでください。ケガや、誤って飲み込んでしまい窒息するなどといった重大な事故につながる可能性があります ●分解・組み立ての際は部品をなくさないよう注意してください ●無理な分解 (組み立て) や、当説明書に説明している以外の方法は、組み違いによる誤動作・部品の破損・変形につながりますので、やめてください

【フィールドストリップ (通常分解)】

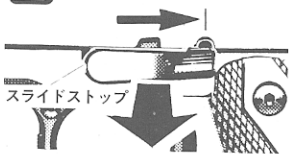
〈組み立てる時は〉

基本的に分解の逆手順 (項目番号の大きい数字から小さいほうへ逆行) で行なってください。

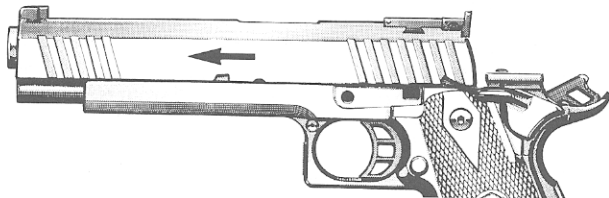
1

マガジンを抜き、スライドを引いて薬室に残弾がないことを確認してください。

2

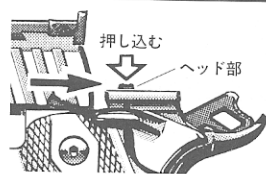


スライド左側面中央底部の半円形のほうの切り欠きを、スライドストップ後端上部の凸部に合わせ、逆側のエジェクションポート内に指先を入れ、スライドストップを押し出し、そのうえで左側へ抜き取ります。次にスライドアツシーを前方に引き抜いてください。



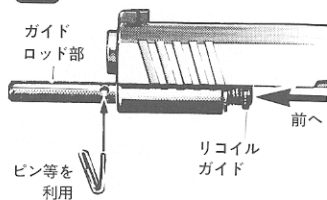
組み立て

スライドを入れる時に、スライド後端がストライカーロックやデイスコネクターに当たります。ヘッド部を押し下げつつ、スライドを後方へ移動してください。

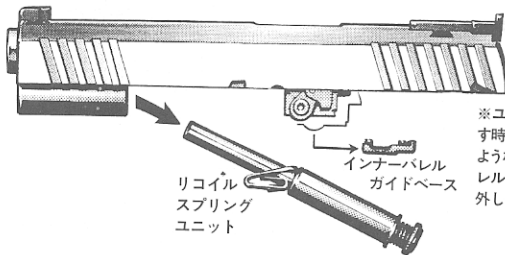


3

★ワンピースリコイルガイドの場合

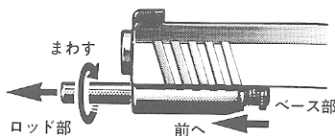


リコイルガイド後部を前方へ押し、ガイドロッドをスライド前面から出し、ロッド中央の穴に長さ12mm以内 / 直径2mm以内のピン状のものを差し込んでください。こうすると分解しやすくなります。この状態でリコイルスプリングユニットを後方へ抜き取ってください。



※ユニットを取り出す時にジャマになるようなら、インナーバレルガイドベースを外してください。

★ツーピースリコイルガイドの場合

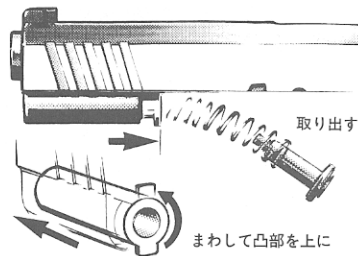


リコイルガイドを前方に押し出し、ガイドのベース部が回らないよう指先でおさえ、ロッド部を回すと、ガイド部が2分割されます。

無理な分解・組み立ては、破損・ケガの原因になります。
細心の注意をはらって行ってください。

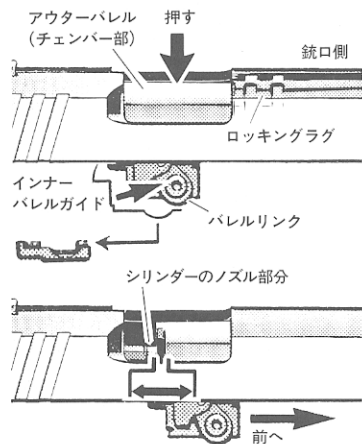


使用前
マナー
操作
ホップ
保管
他
手入れ
分解
パーツ
アクセ
故障?
アフター
通販
実銃

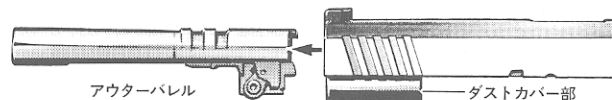


ガイドベースとスプリングは後方へ取り出します。次にプラグを一旦後ろに出し、スライド下部と噛み合っている凸部を上になるように回して銃口側へ押し込み、前方に引き抜きます。

4



インナーバレルガイドの後端下部を前方へ押し、アウターバレルが下降します。さらにチェンバー部を下方へ押し下げスライド内側上面で噛み合っているロックングラグを外し、アウターバレルアッシーを前方へ移動させます。この時シリンダーのノズル部がラバーチェンバーと連結して前方へ出てくるようなら、指先でシリンダーを後方へ戻し連係を解いてください。スライド前方のダストカバー部を通す時は、インナーバレルガイドベースが外れていることを確かめ、図のようにバレルリンクが45度位前方へ倒れている状態(=ガイド部が前方へ移動している状態)のままで行なってください(多少キツめです)。



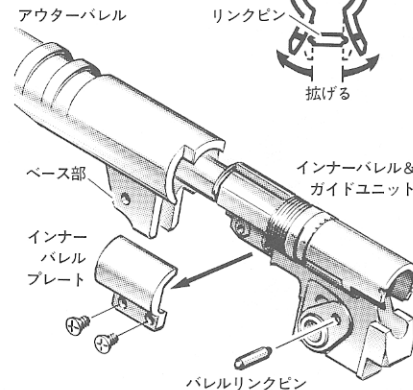
【バレルの分解】

★アウターバレルを交換する時のみ行なってください(交換時以外分解の必要はなく、微妙な調整のもとに組み立てられている部所なので、これ以上の分解はお勧めしません)。

拡げすぎ破損に注意



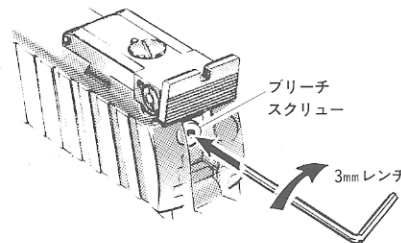
※アウターバレルのベース部とインナーバレル&ガイドユニットの左右のすき間に精密ドライバーや爪先(爪が痛むようなら中止)を入れベース部を左右に拡げつつ、ガイドユニットを後方へ押し出します。



部品紛失注意

バレルリンクピンはアウターバレルのベース部内部の寸法をタイトに安定させる役目をもたせている関係で、上記の方法でしか分解できません。決して横から叩き出そうとはしないでください。破損します。

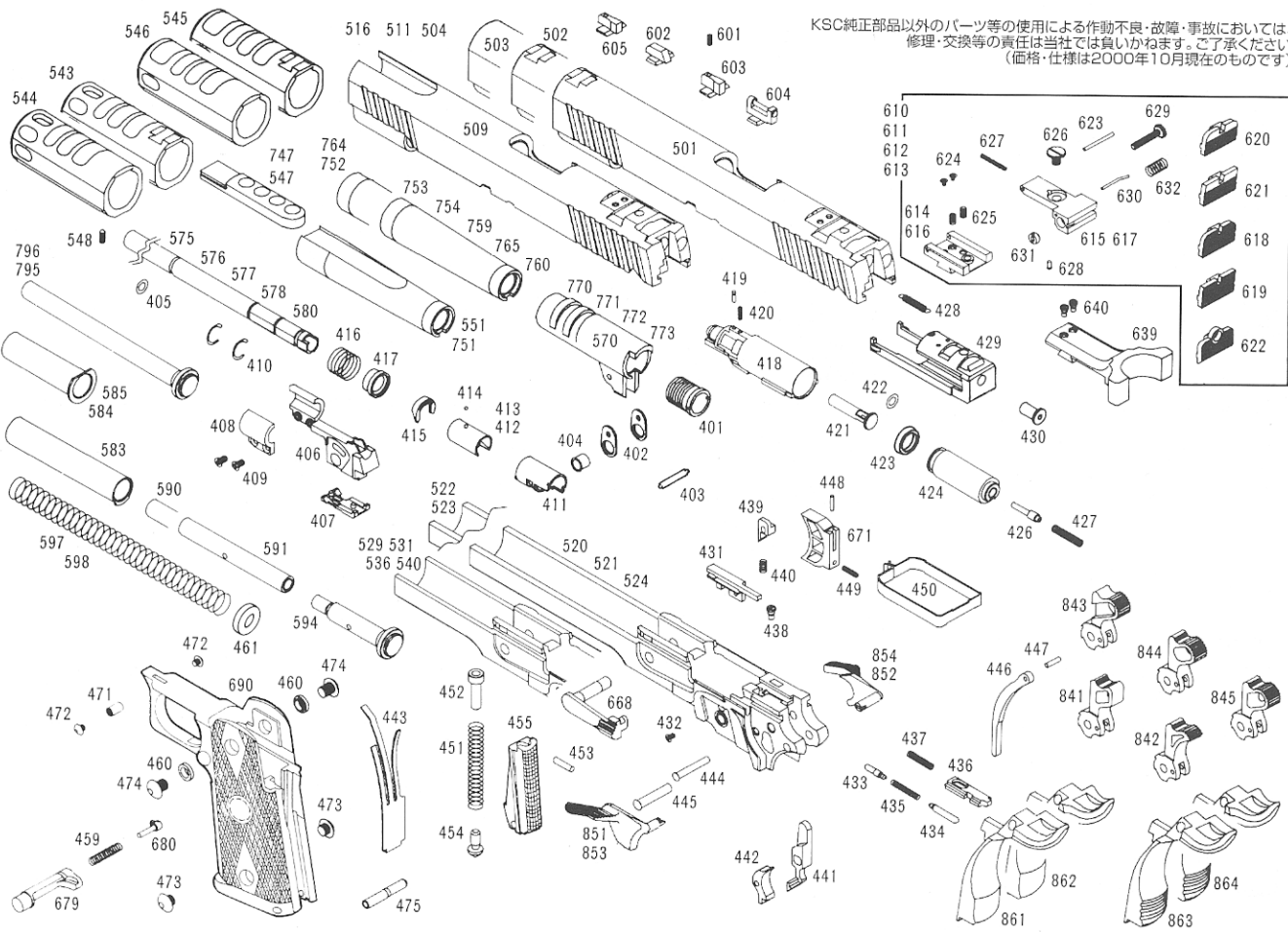
【ブリーチスクリューの増し締め】



★ブリーチスクリューがゆるむと不調になることがあります。定期的に増し締めを行なってください。

KSC STI 2011 <レースメカ> パーツリスト I

KSC STI 2011 SERIES



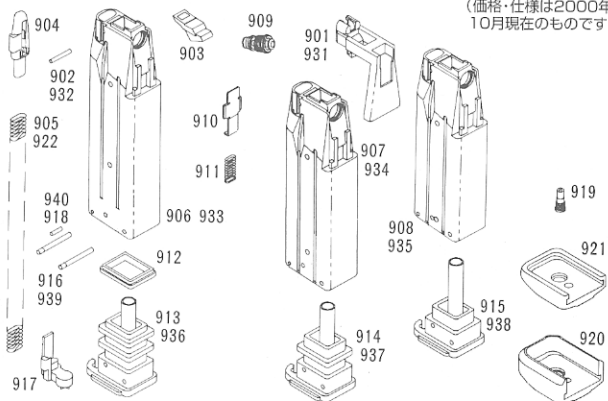
KSC純正部品以外のパーツ等の使用による作動不良・故障・事故においては、
 修理・交換等の責任は当社では負いかねます。ご了承ください
 (価格・仕様は2000年10月現在のものです)

表示価格に消費税は含みません。
仕様/価格は改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

■ マガジン共用&ブラックパーツ

| | | | |
|-----|-----------------|------|-------|
| 901 | V2マガジンリップB | ¥ | 800 |
| 902 | マガジンリップピンB | ¥ | 50 |
| 903 | V2ノズルラバー | ¥ | 300 |
| 904 | V2フォロアセット | ¥ | 400 |
| 905 | V2コンプフォロアースプリング | ¥ | 400 |
| 906 | コンプマガジンケースB | ¥ | 2,500 |
| 907 | キャリアマガジンケースB | ¥ | |
| 908 | ショートマガジンケースB | ¥ | |
| 909 | 放出バルブ | ¥ | 800 |
| 910 | バルブプレート | ¥ | 200 |
| 911 | バルブプレートスプリング | ¥ | 100 |
| 912 | マガジンシール | ¥ | 200 |
| 913 | コンプインナーベースB | ¥ | 800 |
| 914 | キャリアインナーベースB | ¥ | |
| 915 | ショートインナーベースB | ¥ | |
| 916 | インナーベースピンB(×2) | 1コ ¥ | 50 |
| 917 | ベースストップ | ¥ | 400 |
| 918 | ベースストップピンB | ¥ | 50 |
| 919 | 注入バルブ | ¥ | 300 |
| 920 | V2マガジンベース | ¥ | 400 |
| 921 | V2ショートマガジンベース | ¥ | |
| 922 | C/Sフォロアースプリング | ¥ | |

(価格・仕様は2000年
10月現在のものです)



■ マガジンシルバーパーツ

| | | | |
|-----|----------------|------|-------|
| 931 | V2マガジンリップS | ¥ | 1,000 |
| 932 | マガジンリップピンS | ¥ | 100 |
| 933 | コンプマガジンケースS | ¥ | 2,800 |
| 934 | キャリアマガジンケースS | ¥ | |
| 935 | ショートマガジンケースS | ¥ | |
| 936 | コンプインナーベースS | ¥ | 1,000 |
| 937 | キャリアインナーベースS | ¥ | |
| 938 | ショートインナーベースS | ¥ | |
| 939 | インナーベースピンS(×2) | 1コ ¥ | 100 |
| 940 | ベースストップバーピンS | ¥ | 100 |

■ アクセサリー

| | | | |
|------|--------------------------------|---|-------|
| M190 | STI コンプマガジン(ブラック) | ¥ | 3,600 |
| M199 | STI コンプマガジン(シルバー) | ¥ | 4,000 |
| M200 | STI キャリーマガジン(ブラック) | ¥ | |
| M209 | STI キャリーマガジン(シルバー) | ¥ | |
| M210 | STI ショートマガジン(ブラック) | ¥ | |
| M219 | STI ショートマガジン(シルバー) | ¥ | |
| T510 | 0.98mmL型6角レンチ | ¥ | 100 |
| T520 | 1.5mmL型6角レンチ | ¥ | 100 |
| T550 | 3.0mmL型6角レンチ | ¥ | 100 |
| T570 | 1/8 inL型6角レンチ | ¥ | 100 |
| T580 | 1/8 inL型6角レンチ | ¥ | 100 |
| T629 | バルブレンチ(注入・放出バルブ専用分解レンチ/ステンレス製) | ¥ | 2,000 |

【STI 2011/1911 スコープマウントベース】

アルミ製、削り出し加工。
デザインは数あるGM
系マウントベースの中で、
最も美しく人気と信頼度
の高さで定評のあるウイ
ガン社のタイプを再現。
シャーシ幅の薄いモデル
用のスベサーも後日
発売予定。



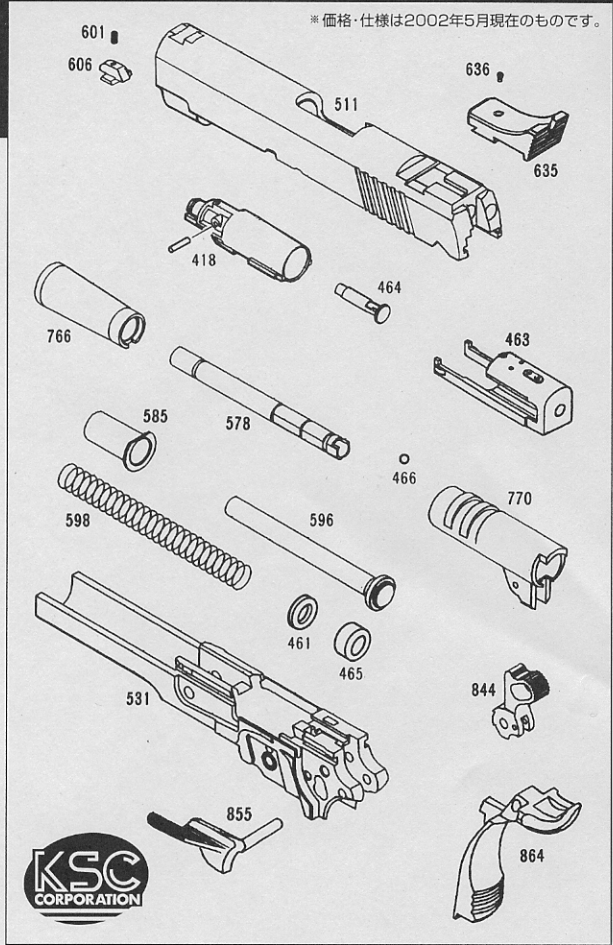
各¥7,500

★ネジ用の穴開けを個人で行なうのは難度が高いため、穴開け済みシャーシとのセット販売(個々に買うより¥1,000 お得)も行ないます。

- スコープマウントベース&RVシャーシセット(ワイド5.1用) ¥10,000
- スコープマウントベース&RVシャーシセット(ワイド6.0用) ¥10,500

使用前
マナー
操作
ホップ
保管他
手入れ
分解
パーツ
アクセ
故障?
アフター
通販
実銃

HAWK 4.3



● ホーク4.3 パーツリスト ●

| | | | |
|-----|-------------------|---------------|---------|
| 418 | RVシリンダーセット | (ピンつき) | ¥ 600 |
| 461 | リコイルバッファー | 2mm | ¥ 100 |
| 463 | フィクスサイトブリーチB | | ¥ 1,000 |
| 464 | タフインナーピストン | | ¥ 300 |
| 465 | クッションバッファー | | ¥ 500 |
| 466 | アジャストボール | 2.2 (φ2.2) | ¥ 50 |
| 511 | ホーク4.3スライド | (クラシック) | ¥ 4,000 |
| 531 | ホーク4.3スタンダードシャーシB | | ¥ 3,000 |
| 578 | 4.3インナーバレル | 94B | ¥ 1,500 |
| 585 | 4.3リコイルプラグB | | ¥ 1,300 |
| 596 | 4.3ワンピースリコイルガイドB | | ¥ 900 |
| 598 | 4.3リコイルスプリング | | ¥ 900 |
| 601 | フロントサイトスクリュー | (HS2×4) | ¥ 50 |
| 606 | V2ランプフロントサイト | | ¥ 400 |
| 635 | HNリアサイト | | ¥ 700 |
| 636 | HNリアサイトスクリュー | | ¥ 50 |
| 766 | 38/9mmアウターバレル | 4.3S | ¥ 1,500 |
| 770 | 38スーパーチェーンバレル | S | ¥ 800 |
| 844 | タフティカルハンマー | S | ¥ 600 |
| 855 | キングシングルセフティ | S | ¥ 800 |
| 864 | グリップドスレンダーグリップ | セフティS | ¥ 1,200 |
| 907 | キャリアマガジンケース | B | ¥ 2,500 |
| 914 | キャリアインナーベース | B | ¥ 800 |
| 921 | V2ショートマガジンベース | | ¥ 400 |
| 923 | V2Bマガジンリップ | B | ¥ 800 |

* 上記以外のパーツにつきましては、共用または流用パーツとして取扱説明書のパーツリストに掲載されていますので、そちらをご参照ください。(当リストと重複しているパーツもありますが、本紙の内容が最新のものです。また取扱説明書内パーツリストで紹介されている、本モデルで使用していないパーツの中には、販売終了品や、今後の展開を考慮してリストアップされた未発売品もふくまれていますので、ご承知おさください。)

* 表示価格に消費税は含まれません。仕様・価格は改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。